SANYO

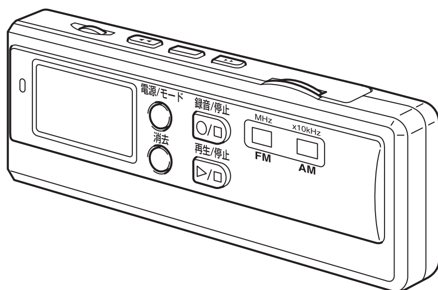
取扱説明書

ラジオ付デジタルボイスレコーダー

品番　ICR-RB75

保証書付

お買い上げいただきましてありがとうございました。
正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は“いつでも見られる所”に大切に保管してください。
なお、この取扱説明書は“保証書付”になっています。保証書は「お買い上げ日」、「販売店」などの記入を必ず確かめ、販売店よりお受け取りください。



お客さまメモ

お買い上げの際にご記入ください。
お問い合わせの時などに便利です。

品　番	ICR-RB75
お買い上げ日	年　月　日
お買い上げの販売店名	電話（　）　－

もくじ

はじめに

基本操作

その他

基本操作ガイドについて

すぐにご使用になりたい方は、基本操作ガイドをご参照ください。ただし、4ページ「安全上のご注意」および、9ページ「付属品の確認」は必ず最初にお読みください。

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

安全のため必ずお守りください。

■絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 **警告**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 **注意**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例

	「注意(警告を含む)をうながす事項」を示します。
	「してはいけない行為(禁止事項)」を示します。

本体について



■ 分解・改造しない



分解禁止

本機を分解、改造しないでください。
火災、感電の原因となります。内部の点検および修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

■ 運転中は使用しない



禁止

自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因になります。
また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分にご注意ください。

■ 内部に水や異物を入れない、また風呂やシャワー室で使用しない



水場禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。
万一、水や異物が入ったときは、乾電池を抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ 大音量で長時間続けて聞きすぎない



禁止

イヤホンで聞くときに耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがありますのでご注意ください。
また、突然大きな音がでて耳を痛めることがありますのでボリュームは徐々に上げるようご注意ください。

■ 極端な温度条件のもとでは使用しない



禁止

結露などによる火災や感電の原因になります。温度が5℃未満、または35℃を超える場所では使用しないでください。

 警告

■ 置き場所に注意


禁止

湿気、ほこりの多い場所や、油煙、湯気が当たる場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
また、窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など温度が高くなる場所に放置しないでください。火災、故障の原因となることがあります。

乾電池について

⚠ 注意

■ 乾電池は正しく入れる


注意

乾電池を入れるときはプラスとマイナスの向きに注意し、表示通りに入れてください。間違えると乾電池の破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損することがあります。

■ 乾電池は充電しない


禁止

乾電池は充電しないでください。乾電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となります。

■ ショートさせない


禁止

ネックレスなどの金属物といっしょにしないでください。乾電池の液漏れや、発熱、破裂の原因になります。

■ 長時間入れたままにしない


禁止

長時間(1週間程度)使用しないときは乾電池を取り出しておいてください。乾電池からの液漏れにより、火災、けが、周囲を汚損する原因となります。

■ 録音内容を消去するときは、電池残量を確認する


注意

録音内容を消去するには電池残量表示を確認してください。消去の途中で電源が切れると、録音内容は消去できません。

乾電池が液漏れしたとき

液が本体内部に残ることがありますので、当社のお客さまご相談窓口までご相談ください。液が目に入ったときは、失明の原因になりますので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、ただちに医師に相談してください。液が身体や衣服についたときも、やけどなどの原因になりますので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症などの症状がでたときには、医師に相談してください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

著作権について

放送やMD、CD、レコード、その他の録音物の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。

あなたが録音したものは個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。

必ずお読みください

本機の使用中、万一何らかの不具合により、録音の失敗および録音内容（データ）の損失を防ぐために

1．録音前には必ず試し録音をしてください。

2．録音データを他の機器にバックアップしてください。

(29ページ「外部機器へ録音する場合」参照)

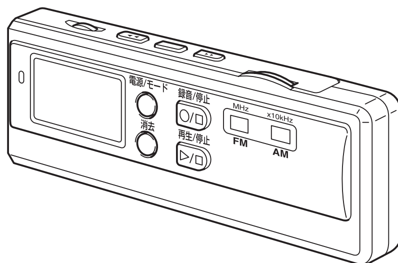
本機の使用中および落下、衝撃原因での不具合によるデータ損失や機会損失などの補償については、当社では責任を負いかねます。

また、修理でのデータ消去を伴う事項が発生しても補償については、当社では責任を負いかねます。　あらかじめご了承ください。

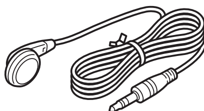
付属品の確認

箱から出し、付属品がそろっているか確認してください。

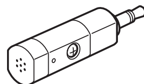
●ラジオ付デジタルボイスレコーダー本体…1



●イヤホン
(FMアンテナ兼用)…1



●外部マイク…1



●単4形アルカリ乾電池…2
●本書(保証書付)…1
●基本操作ガイド…1

主な特長

① FM/AMラジオ内蔵!

FM/AMラジオを聞くことができます。さらにラジオの内容を録音し保存しておくことができます。

② 32MBメモリ内蔵で長時間録音可能!

最大約16時間50分(録音モード:LP時)の録音が可能です。
録音モードについては、19ページの「録音モードを選択する」を参照。

③ オートパワーオフ機能

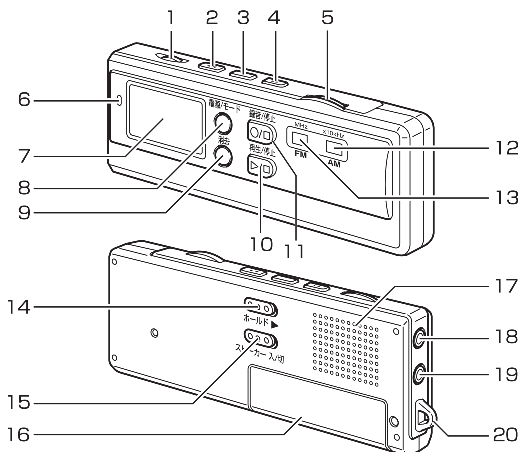
停止状態で約1分間放置しておくと、自動で電源が切れ、電池の消費を抑えます。

本書は製品開発に先がけて印刷されており、その後、性能改善や操作性向上のため、製品仕様の一部が変更となることがあります。
その場合は製品自体の仕様が優先されます。

各部のなまえ

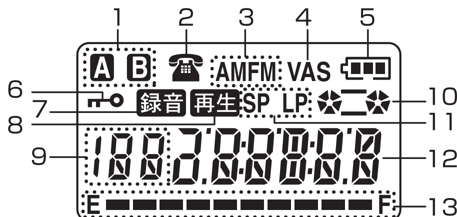
くわしくは、(　)内のページをご覧ください。

本　体



1. **音量調整**ダイヤル
2. **早戻し**(◀◀)ボタン(24ページ)
3. **メニュー**ボタン(18ページ)
4. **早送り**(▶▶)ボタン(24ページ)
5. **選局**ダイヤル
6. 内蔵マイク
7. 液晶パネル
8. **電源/モード**ボタン(16ページ)
9. **消去**ボタン(32ページ)
10. **再生/停止**ボタン(23ページ)
11. **録音/停止**ボタン(20ページ)
12. AM選局表示
13. FM選局表示
14. **ホールド**スイッチ(17ページ)
15. **スピーカー入/切**スイッチ(27ページ)
16. 電池ぶた
17. スピーカー
18. イヤホン端子(15ページ)
19. 外部マイク端子(15・29ページ)
20. ストラップ用フック

液晶パネル



1. フォルダ表示
   ABフォルダにそれぞれ最大100個ずつのファイルが録音できます。
2. 電話録音フォルダ表示
   電話録音したファイルが保存されるフォルダです。
3. AM/FM切り替え表示, ラジオ録音フォルダ表示
   ラジオを選択したときに表示されます。また, ラジオから録音したファイルが保存されるフォルダです。
4. VAS(音声起動録音)表示
   VASが選択されているときに表示します
5. 電池残量
6. ホールド
   マークが表示中はホールド機能が設定されています。間違ってボタンが押されたときの誤動作を防ぎます。
7. 録音表示
8. 再生表示
9. ファイル番号表示
10. ダイナミック(録音・再生)動作表示
11. 録音モード
    SP(スタンダード)、LP(ロング)モードの選択ができます。
12. 録音時間表示／その他表示
    (下記表示の意味参照)
13. メモリー残量表示

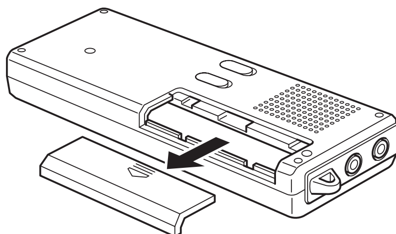
[表示の意味]

STOP	停止
REC	録音
PLAY	再生
FOL.D	フォルダ
MO.D	録音モード
VAS	無音時自動一時停止
PAUSE	一時停止
FULL	録音が一杯
Hol d	ホールド
RE	再生・録音可能 残時間
SP	標準モード
LP	2倍モード
SCAN	イントロ再生
ERASE	消去
AL ERASE	フォルダ内全消去
AL CLEAR	全消去
LO BAT	電池交換
RE PA IR	録音内容復旧
RAd IO	ラジオ放送受信
FM	FM放送
AM	AM放送

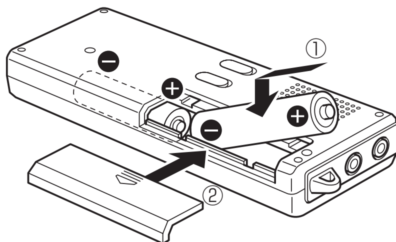
お使いになるまえに

乾電池の入れ方

1 電池ぶたを開ける

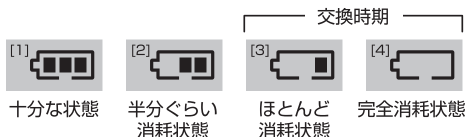


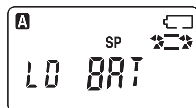
2 単4アルカリ乾電池を2本入れ、ふたを閉める。



電池残量表示

電池残量は、液晶パネルの電池残量表示で確認してください。





電池が消耗し低電圧になった場合は、液晶に“LO_BAT”が表示されます。

“LO_BAT”表示後　液晶パネル表示消灯→電池切れ

電池残量表示が [電池アイコン] を点灯したら

新しい単4形アルカリ乾電池に交換してください。

ご注意

- 乾電池は、温度が5℃～35℃の環境でご使用ください。特に、夏の車内には放置しないでください。
- 使いきった乾電池は、各地方自治体の指示(条例)に従って処分してください。
- 録音中、録音一時停止中、再生中、再生一時停止中、および消去中に乾電池を抜くと、ファイルが壊れる可能性があります。
- 付属の乾電池はモニター用ですので、寿命が短いことがあります。

乾電池持続時間(単4形アルカリ乾電池2本)

動作状態	録音時		スピーカーVol.“中”再生時		イヤホンVol.“中”再生時	
録音モード	SP	LP	SP	LP	SP	LP
持続時間	18時間	19時間	19時間	19.5時間	22時間	24時間

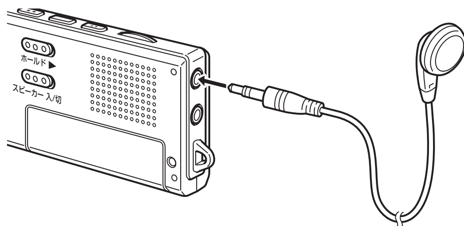


ちょっとこれを！

使用しないときは**ホールド**スイッチを設定しておけば、誤動作を防ぐことができます。

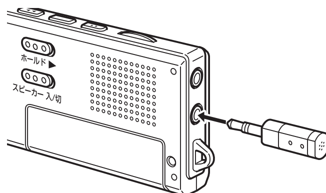
イヤホン(付属品)を使用する

イヤホン端子に差し込んでください。イヤホンはFM受信時のアンテナも兼ねています。**スピーカー入/切**スイッチにより、スピーカーから音を出すか、イヤホンから音を出すかを設定してください。



外部マイク(付属品)を使用する

外部マイク端子に差し込んでください。外部マイクを差し込むと、内蔵マイクははたらきません。

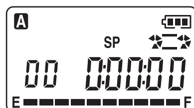


操作前の準備

電源を入/切にする

電源/モードボタンを押して、電源を入れる





●電源が入り、電源を切る前に選択していた、ファイル番号と再生総時間が表示されます。(レジューム機能)

※**録音/停止**ボタン、**再生/停止**ボタンを押しても電源が入ります。前回ラジオモードで電源を切り、**録音/停止**ボタンを長く押し続けて電源が入った場合、電源が入ると同時にラジオ放送の録音が始まります。

※"Hold"が表示された場合は、**ホールド**スイッチを解除してください。





●停止時またはラジオ放送受信時に**電源/モード**ボタンを2秒以上押すと、電源が切れます。

オートパワーオフ機能について

A、B、☎、**AMFM** -フォルダ選択時、停止状態で約1分間放置しておくと、自動的に電源が切れます。(ラジオ放送受信時は、オートパワーオフ機能は働きません。)

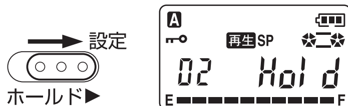
電源切り後の再表示について:レジューム機能

電源を切る前に選択していたファイル番号と、再生を停止させた位置を記憶しています。次に電源を入れたときは、停止した同じ位置から再生を開始することができます。フォルダを切り替えるか、本機の乾電池を抜くとレジューム機能は解除されます。

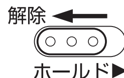
誤動作を防止する（ホールド機能）

録音または再生中などで誤ってボタンを押し、動作を中断してしまうことを防ぎます。

ホールドスイッチを矢印の方向に切り替える



- "Hold"と表示され、ホールド機能がはたらきます。
- ホールド機能中に、操作ボタンを押すと、"Hold"と表示されるだけで各ボタンは機能しません。
- ホールド機能中は、バックライトは点灯しません。
- ホールド機能を解除するときは、**ホールド**スイッチを右図のように切り替えてください。





ちょっとこれを！

本機をかばんやポケットに入れているときは、誤操作を防止するためにホールド機能をはたらかせておくことをおすすめします。

基本操作

録音する

風の強いところなど、環境によって録音状態が変わります。必ず事前に試し録音をして、正常に録音されることを確認してください。

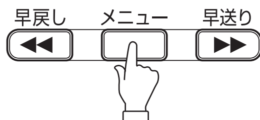


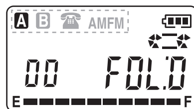
ちょっとこれを！

録音を開始する前に**メニュー**ボタンを押して各種設定をします。**メニュー**ボタンを1回押すとフォルダ選択、2回押すと録音モード選択、3回押すとVAS［音声起動録音］設定のそれぞれの画面を表示します。それぞれの画面で約5秒間なにも操作しないと、電源入時(停止状態)の画面に戻ります。

1 録音するフォルダを選択する

1 **メニューボタンを短く1回押し、液晶パネルに“FOL:0”を表示させる**





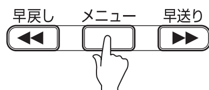
2 **早送りボタン、早戻しボタンを押して、録音するフォルダ（A、B、☎、AMFM）を選択する**

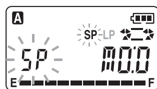
●それぞれのフォルダに、最大100ファイルずつ録音できます。

●AMまたはFM放送を録音するときは、自動的に**AMFM**フォルダに録音されます。

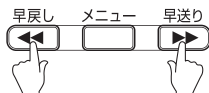
② 録音モードを選択する

1 メニューボタンを2回押し、液晶パネルに"m0:0"を表示させる





2 早送りボタン、早戻しボタンを押して、録音モードを選択する



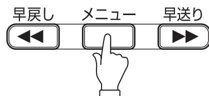
録音モード	録音可能時間
SPモード	約7時間40分
LPモード	約16時間50分

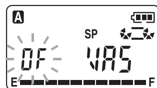
●ラジオ放送録音時は自動的にSPモードになります。

③ VAS[音声起動録音]の設定

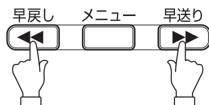
音を感知したときだけ自動的に録音を開始し、音が小さくなると録音が一時停止します。

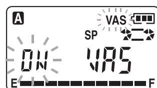
1 メニューボタンを3回押し、液晶パネルに"VAS"を表示させる





2 早送りボタン、早戻しボタンを押して、ON/OFFを選択する





●録音中に**メニュー**ボタンと**早戻し**ボタンで、VASのON/OFFを切り替えることもできます。

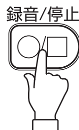
ご注意

小さい音声のときは、この機能が働かない場合があります。

基本操作

④ 音声を録音する

録音/停止ボタンを押す





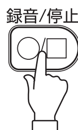
●録音が始まります。

●現在録音しているファイル番号と、録音時間を表示します。

録音を停止するには

録音/停止ボタンを押す

録音を停止します。



ご注意

● 録音中に本体に触ったり、動かしたりすると雑音が入ります。
（37ページ「Q&A（よくある質問）」参照）

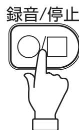
● メモリー容量が残っていない場合やフォルダ内のファイル数が100個を超えた場合には録音できません。

● 録音中の音量調整はできません。

録音を一時停止するには

録音中、録音/停止ボタンを1秒以上押す

● "PAUSE"を点滅表示し、録音を一時停止します。





●一時停止中、もう一度**録音/停止**ボタンを押すと録音を再開します。

●録音一時停止状態で30分経過すると、電源が切れます。

録音可能残時間を表示するには

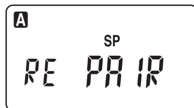
録音中、**電源/モード**ボタンを1秒以上押すと録音可能残時間を表示します。
録音可能残時間は約10秒間表示した後、録音状態の表示に戻ります。



●録音可能残時間表示中は、録音一時停止できません。
●録音可能残時間が残っていても、録音が終了することがあります。

録音中に電源が切れた場合:REPAIR機能

録音中に電池が外れたり、電池寿命により電源供給が停止された場合は、再度電源供給を開始した際に"REPAIR"が表示され、前回録音中の内容を復旧し保存します。

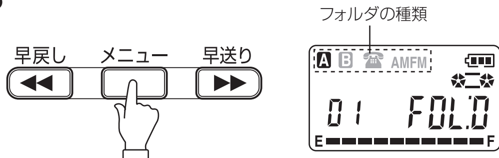


基本操作

再生する

① 再生するフォルダを選択する

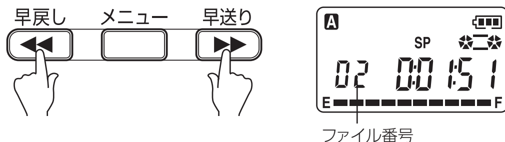
1 メニューボタンを短く1回押し、液晶パネルに"FOL:0"を表示させる



2 早送りボタン、早戻しボタンを押して、
再生するフォルダ(A、B、☎、AMFM)を選択する

② 再生するファイルを選択する

早送りボタン、早戻しボタンを押して、再生するファイルを選択する



※再生中でも、再生ファイルの選択は**早送り**ボタン、**早戻し**ボタンを短く押すことでおこなえます。

③ 再生を開始する

再生/停止ボタンを押す



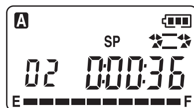


- 再生を開始します。ひとつのファイルの再生が終わると、次のファイルの頭から再生を始めます。
- ひとつのフォルダ内の、最後のファイルを再生し終わると再生を停止します。

再生を途中で停止するには

再生/停止ボタンを押す

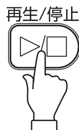




- "STOP"の文字が2秒間表示され、再生を停止します。停止後は再生していたファイル番号と再生経過時間を表示します。

再生を一時停止するには

再生中、再生/停止ボタンを1秒以上押す





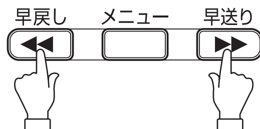
- "PAUSE"を点滅表示し、再生を一時停止します。
- 一時停止中、もう一度**再生/停止**ボタンまたは**電源/モード**ボタンを押すと、再生を再開します。
- 再生一時停止状態で30分経過すると、電源が切れます。

基本操作

早送り/早戻しするには

再生中に早送りボタン、早戻しボタンを1秒以上押す

再生中のファイルを早送り、早戻しすることができます。



■早送り(▶▶)

ファイルの最後まで早送りをすると、次のファイルの先頭から早送り再生を続けます。

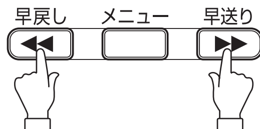
■早戻し(◀◀)

ファイルの先頭まで早戻しをすると、そのひとつ前のファイルの最後から早戻し再生を続けます。

●早送り、早戻し中は、音声は出ません。

次のファイル、前のファイルを聞くには

再生または停止中に、早送りボタン・早戻しボタンを短く押す



ファイルの残り時間を表示するには

再生中、電源/モードボタンを1秒以上押す





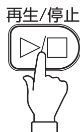
●現在再生しているファイルの残り時間を表示します。

●再生残時間を約10秒間表示した後、再生状態の表示に戻ります。

●再生残時間表示中は、再生を一時停止できません。

イントロ再生

停止状態で、再生/停止ボタンを1秒以上押す





●"SCAN"と表示し、そのフォルダ内のすべてのファイルを、最初から5秒ずつ再生します。

※中止したい場合は、**再生/停止**ボタンを押してください。イントロ再生を中止します。

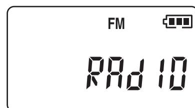
基本操作

ラジオ放送を聞く

ラジオ放送を受信する(モノラル受信のみとなります)

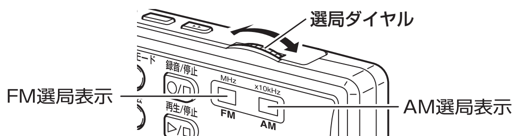
1 電源/モードボタンを押し、電源を入れる

2 電源/モードボタンを数回押し、ラジオモードのAMまたはFMを選択する



● “RAdIO”を表示します。
● AM放送選択時は、雑音が入るのを防止するためにバックライトは点灯しません。
● ボタンを押すごとに、**FM放送→AM放送→音声録音**に切り替わります。

3 選局ダイヤルを回して選局する

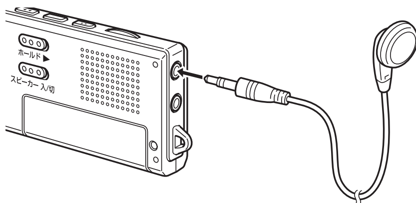


ご注意

携帯電話が近くにある場合、雑音が入ることがあります。携帯電話の電源を切るか、本機から離してお使いください。

■FM放送を聞く場合

イヤホン端子にイヤホンを差し込んでください。イヤホンのコードが、アンテナの役割をします。イヤホンのコードをできるだけ長く伸ばしてお使いください。

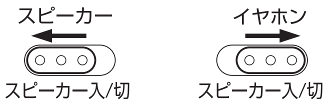


■AM放送を聞く場合

アンテナを内蔵していますので、本機の向きを変えて、もっとも良く受信できる位置でお使いください。電波の弱い場所では正しく受信できない場合があります。

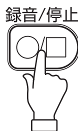
スピーカー/イヤホンの切り替え

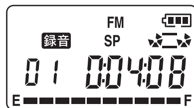
スピーカー入/切スイッチの切り替えにより、音声出力をスピーカーまたはイヤホンに切り替えることができます。



ラジオ放送を録音する

ラジオ放送を受信中、録音/停止ボタンを押す



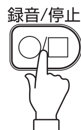


●録音が始まります。

●ラジオ放送の録音時は、録音モードが自動的にSPモードになります。

録音を停止するには

録音/停止ボタンを押す



- 録音したファイルはAMFMフォルダに保存されます。

※ラジオ放送の録音一時停止はできません。

ご注意

■ラジオ放送を録音する場合

ラジオ放送を録音するときは、最良な受信環境にしてから録音してください。

録音したラジオ放送を聞く

録音したファイルは、AMFMフォルダに保存されています。保存したラジオ放送を聞く場合はAMFMフォルダを選択し、再生してください。(22ページを参照)

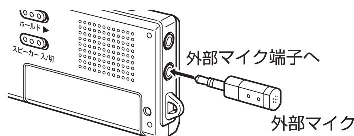
外部機器との接続

外部マイクとの接続

外部マイク(付属品)を外部マイク端子に接続してください。

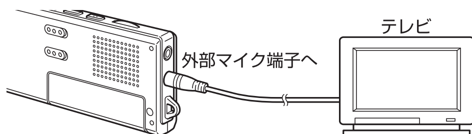
ご注意

- 録音中に本体やマイクに触ったり、動かしたりすると雑音が入ります。(37ページ「Q&A(よくある質問)」参照)
- 録音中の音量調整はできません。できるだけ音源のそばで録音してください。



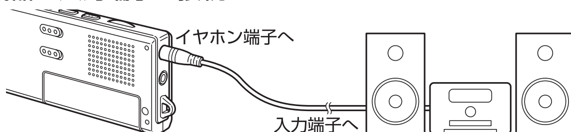
外部機器から録音する場合

外部機器の出力をボイスレコーダーの外部マイク端子に接続してください。

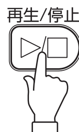


外部機器へ録音する場合

1. **音量調整ダイヤルを“小”位にする**
2. **オーディオケーブルを、ボイスレコーダーのイヤホン端子と外部機器の入力端子に接続する**



3 再生/停止ボタンを押す

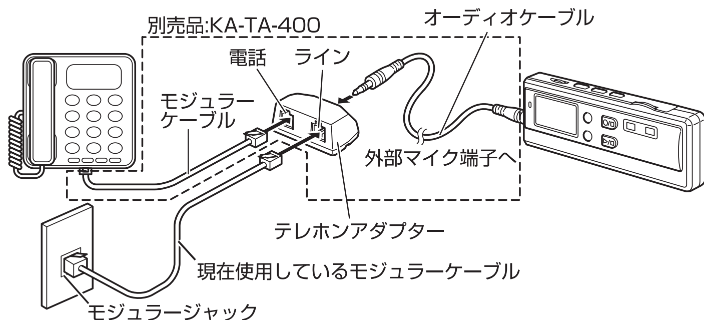


※外部機器から録音する場合や外部機器へ録音する場合は、まず一度試し録音をして、音量調節をおこなってください。

電話の音声を録音する場合(別売品:電話録音キットKA-TA-400使用時)

テレホンアダプターとモジュラーケーブル、オーディオケーブルを使用し、電話での通話内容を録音することができます。

1 別売品のテレホンアダプターとモジュラーケーブル、オーディオケーブルを下図のようにつなぐ



2 メニューボタンを短く1回押し、液晶パネルに"FOL:0"を表示させる

3 早送りボタン、早戻しボタンを押して、☎フォルダを選択する

4 電話器の受話器を取り、通話を開始する

5 録音を始めたい時に録音/停止ボタンを押し、
録音を開始する



6 録音を止めたい時に再度録音/停止ボタンを押し、
録音を停止する

7 電話器の受話器を置く

※録音中の音量調整はできません。

※**一部対応していない電話機もあります。**ビジネスホンなどは使用できません。ご使用前に一度ためし録音をして、正常に録音されることを確かめてください。

※☎ フォルダに、内蔵マイクでの音声録音をすることもできます。

※☎ フォルダ以外のフォルダに、電話の音声を録音することもできます。

ファイルを消去する

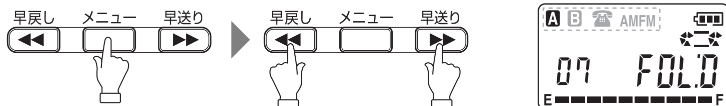
ご注意

一度消去された録音内容は復旧することができません。ご注意ください。

録音したファイルを1件ずつ消去する

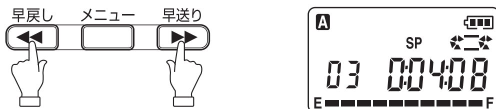
1 消去したいフォルダを選択する

メニューボタンを短く1回押し、**早送り**ボタン、**早戻し**ボタンでフォルダを選択します。



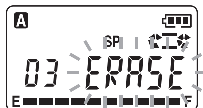
2 消去するファイルを選択する

早送りボタン、**早戻し**ボタンでファイルを選択します。



3 消去ボタンを1秒以上押す





● “ERASE”表示が点滅し、消去確認のための再生（ファイルの最初と最後、約5秒ずつ）が始まります。

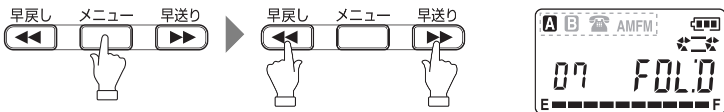
4 消去確認のための再生中にもう一度、消去ボタンを押す

- 選択したファイルが消去されます。
- 消去終了後、ファイル番号がひとつずつ繰り上がります。
- 消去確認のための再生中に**消去**ボタン以外のボタンを押すと、消去をキャンセルします。
- 消去確認のための再生中にボタンを押さなければ、ファイルを消去せずに停止状態に戻ります。

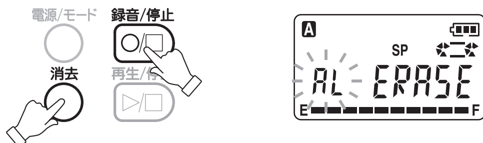
フォルダ内のファイルをすべて消去する

1 消去したいフォルダを選択する

メニューボタンを短く1回押し、**早送り**ボタン、**早戻し**ボタンでフォルダを選択します。



2 消去ボタンを押しながら録音/停止ボタンを3秒以上押す



- “AL ERASE”を表示します。

※フォルダにファイルがない場合は、"NO INF"と表示します。

3 “AL”の点滅開始後、約10秒以内にもう一度消去ボタンを押す

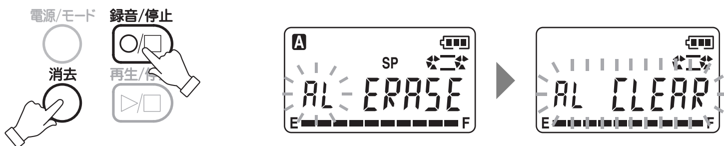


●選択したフォルダ内のファイルが消去されます。
●点滅中に**消去**ボタン以外のボタンを押すと、消去をキャンセルします。
●点滅中にボタンを押さなければ、ファイルを消去せずに停止状態に戻ります。

すべてのファイルを消去する

1 消去ボタンを押しながら録音/停止ボタンを7秒以上押す

●表示画面が“AL ERASE”→“AL CLEAR”に替わります。

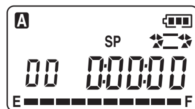


※フォルダにファイルがない場合は、"NO INF"→"AL CLEAR"に替わります。

2 “AL CLEAR”の点滅開始後、約10秒以内にもう一度消去ボタンを押す

●すべてのファイルが消去されます。





●点滅中に**消去**ボタン以外のボタンを押すと、消去をキャンセルします。
●点滅中にボタンを押さなければ、ファイルを消去せずに停止状態に戻ります。

故障かな?と思うまえに

販売店にご相談になる前に、下記をお確かめください。
なおらない場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。

本機が動作しない

原　　因	乾電池が正しく入っていないか、乾電池切れである
解決方法	乾電池が正しく入っていることを確認してください。 または新しいアルカリ乾電池に替えてください。 13ページ「乾電池の入れ方」参照

ボタンを押しても反応しない

原因	誤動作防止機能（ホールド機能）が設定されている
解決方法	誤動作防止機能（ホールド機能）を解除してください。 17ページ「誤動作を防止する(ホールド機能)」参照

音声が聞こえない

原因	音量が小さいか、**スピーカー入/切**スイッチの選択が正しくない。
解決方法	音量を調節してください。または**スピーカー入/切**スイッチを正しく選択してください。

FM放送が受信（録音）できない

原因	イヤホン(アンテナ兼用)が差し込まれていない
解決方法	本機のイヤホン端子に付属のイヤホンを差し込んでください。

録音ができない

原　　因	録音時間、録音件数がいっぱいで“FULL”表示が出ていませんか。
解決方法	メモリーがいっぱいです。ファイルを消去してください。 32ページ「ファイルを消去する」参照

お手入れについて

お手入れ

柔らかい布でふいてください。汚れがひどいときは、柔らかい布でからぶきをしてください。

- ベンジンやアルコール、シンナーなどでふいたりしますと、変質、変色することがありますので使用しないでください。また、殺虫剤もかからないようにご注意ください。

Q&A(よくある質問)

Q:電源は何ですか?

A: 単4形乾電池を2本使用します(単4形アルカリ乾電池2本が付属しています)。
※付属の乾電池はテスト用ですので、早めに新品と交換してください。

Q:録音時間は?

A: SPモードで約7時間40分、LPモードで約16時間50分の連続録音時間ができます。

Q:電池はどのくらいもちますか?(アルカリ乾電池使用時)

A: 録音時………………SPモード18時間、LPモード19時間
スピーカー再生時…SPモード19時間、LPモード19.5時間
※上記は目安です。使用状況により若干異なります。

Q:どのくらいの距離まで録音できますか?

A: 目安として約1mですが、周囲の音の状況により若干異なります。なお、講演会のような大きな場所での録音は、講師の方に了解を取っていただき、講師の(机など)近くにボイスレコーダーを置いてください。
※会議・講演会などの録音は、話し手の声や周囲の状態により、録音がクリアにできない場合があります。

Q:再生したとき、ガサガサなど雑音が入っているのは何故ですか?

A: 録音時に本体を動かしますと、その音も録音してしまいます。したがって録音の際には、本体が動かないように机の上などに置き、なるべく音源のそばで録音をしてください。

Q:ファイルごとに最長録音(約16時間50分)できるのですか?

A: 録音時間はあくまでもトータルの時間ですので、例えばフォルダAに1件・約16時間50分の録音をしましたら、その後ファイルやフォルダを変更しても録音はできません(録音モードによって、録音時間も変わります)。

主な仕様

内蔵メモリ	：32MB
録音時間	：約7時間40分(SP時) 約16時間50分(LP時)
録再周波数特性	：400～3,000Hz(SP時) 400～2,500Hz(LP時)
チューナー部受信周波数	：FM 76.0～90.0MHz AM 530～1,605kHz
入出力端子	：イヤホン3.5φミニ 外部マイク3.5φミニ
スピーカー	：16Ω(φ23mm)
動作温度	：+5℃～+35℃
定格出力	：150mW(JEITA/DC)
電源	：単4形アルカリ乾電池×2本
電池持続時間	：アルカリ乾電池　約19時間(連続録音時間：LP時) アルカリ乾電池　約19時間(連続再生時間：LP時：スピーカー使用時) ※連続録音再生時間は、電池の種類、メーカー、保管状態、使用条件、使用周囲温度などによって変わります。上記の時間はあくまで目安であり、保証するものではありません。
最大外形寸法	：幅41×高さ116×奥行き17mm(突起部を含まず)
質量	：約87g(電池含む)
付属品	：単4形アルカリ乾電池(2) イヤホン(1) 外部マイク(1) 本書(保証書付)(1) 基本操作ガイド(1)

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書について

- この商品には保証書がついています。お買い上げの際、販売店が発行します。
- 所定事項の記入をご確認のうえ内容をよくお読みになって、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より**1年間**です。

保証書について

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書の35ページからをもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店か、または「お客さまご相談窓口」にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の規定に従い、お買い上げの販売店が修理させていただきます。製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間経過後の修理は

修理により機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。

部品の保有期間について

デジタルボイスレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の保有期間は、製造打ち切り後6年間です。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店または「お客さまご相談窓口」にご相談ください。

お客さまご相談窓口

まずはお買い上げ販売店へ

家電製品についてのご相談や修理のご依頼は、お買い上げ販売店へお申し出ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は

下記の相談窓口にお問い合わせください。
総合相談窓口：家電製品についての全般的なご相談
修理相談窓口：修理サービスについてのご相談

総合相談窓口（全般的なご相談）　三洋電機（株）お客さまセンター

北海道地区	札幌	☎	(011)290-1522
東北地区	仙台	☎	(022)714-6137
関東地区	東京	☎	(03)3815-1111
中部・北陸地区	名古屋	☎	(052)533-5245
近畿・四国地区	大阪	☎	(06)6994-9570
中国地区	広島	☎	(082)297-6067
九州・沖縄地区	福岡	☎	(092)263-7629

受付時間　9:00～18:30

郵便・FAXでご相談される場合は

● 三洋電機（株）お客さまセンター
〒570-8677　大阪府守口市京阪本通2-5-5
FAX (06)6994-9510

上記のお客さまご相談窓口の名称、電話番号は、変更することがありますのでご了承ください。

修理相談窓口　三洋コンシューママーケティング(株)

受付時間　9:00～18:30[月曜日～金曜日]
9:00～17:30[土曜・日曜・祝日]

出張修理のご依頼　その他の修理相談窓口

東日本コールセンター　東京　☎ (03)5302-3401
西日本コールセンター　大阪　☎ (06)4250-8400

関東・首都圏および近畿地区以外にお住まいのお客さまは、下記の電話をご利用いただけます。

東日本コールセンターへの転送電話番号

北海道地区	札　幌	☎ (011)833-7888
東北地区	仙　台	☎ (022)382-2213
長野地区	長　野	☎ (0263)26-1772
新潟地区	新　潟	☎ (025)285-2451
福島地区	福　島	☎ (024)945-6811

西日本コールセンターへの転送電話番号

北陸地区	金　沢	☎ (076)237-6650
東海地区	名古屋	☎ (052)979-3456
中国地区	広　島	☎ (082)293-9333
四国地区	高　松	☎ (087)844-8321
九州地区	福　岡	☎ (092)922-9311

沖縄地区　沖　縄　☎ (098)944-5018
受付時間：月曜日～土曜日
9:00～12:00、13:00～17:30
[日曜、祝日および当社休日を除く]

「持込修理および部品」についてのご相談は、各地区サービスセンターで承っております。
受付時間：月曜日～土曜日(祝日を除く) 9:00～17:30

北　海　道　地　区

[北海道]

札　幌	(011)831-9201	〒003-0013	札幌市白石区中央三条4-1-36
函　館	(0138)48-8301	〒041-0824	函館市西桔梗589-295
苫小牧	(0144)33-3421	〒053-0042	苫小牧市三光町2-2-5
旭　川	(0166)22-2421	〒070-0073	旭川市曙北3条7-3-3
北　見	(0157)23-4871	〒090-0037	北見市山下町4-7-14
釧　路	(0154)22-1576	〒085-0021	釧路市浪花町7-7

東　北　地　区

[宮城県]

仙　台	(022)384-0444	〒981-1225	名取市飯野坂3-4-8

[青森県]

青　森	(017)729-3401	〒030-0141	青森市大字上野字山辺29-5
八　戸	(0178)28-9225	〒039-1103	八戸市長苗代字観音堂50-5

[岩手県]

盛　岡	(019)635-0136	〒020-0863	盛岡市南仙北1-13-6
水　沢	(0197)23-6621	〒023-0003	水沢市佐倉河字羽黒田45

[山形県]

山　形	(023)641-1769	〒990-2432	山形市荒楯町1-21-30
酒　田	(0234)23-3817	〒998-0842	酒田市亀ケ崎6-7-16

[秋田県]

秋　田	(018)862-6551	〒010-0925	秋田市旭南3-2-67

[福島県]

郡　山	(024)945-6793	〒963-0111	郡山市安積町荒井字戸蘭塔1-7

関　東・甲　信　越　地　区

[埼玉県]

さいたま	(048)664-2319	〒330-0812	さいたま市北区宮原町1-30
坂　戸	(049)284-8900	〒350-0214	坂戸市千代田5-3-17

[栃木県]

栃　木	(028)653-2811	〒321-0106	宇都宮市上横田町1302-12

関　東・甲　信　越　地　区（つづき）

[茨城県]

茨　城　(0298)64-4751　〒300-3261　つくば市花畑2-15-3
水　戸　(029)251-4125　〒311-4152　水戸市河和田3-2386-1

[群馬県]

群　馬　(027)362-1151　〒370-0001　高崎市中尾町池の内441
西関東　(0276)22-7702　〒373-0015　太田市東新町72-2

[新潟県]

新　潟　(025)285-2431　〒950-0971　新潟市近江244
長　岡　(0258)24-0705　〒940-0029　長岡市東蔵王2-3-46
上　越　(0255)43-3535　〒942-0074　上越市石橋2-2-9

[東京都]

城　東　(03)3607-3191　〒125-0051　葛飾区新宿4-10-15
城　北　(03)3958-1261　〒173-0021　板橋区弥生町72-5
城　西　(03)3376-3361　〒151-0073　渋谷区笹塚3-1-13
武蔵野　(042)364-7721　〒183-0045　府中市美好町2-3-1

[神奈川県]

戸　塚　(045)827-2831　〒224-0806　横浜市戸塚区上品濃9-14
相模原　(042)742-2272　〒228-0805　相模原市豊町17-11
平　塚　(0463)55-3926　〒254-0014　平塚市四之宮3-20-63

[千葉県]

千　葉　(043)241-7311　〒260-0025　千葉市中央区問屋町5-20
鎌ヶ谷　(047)441-0111　〒273-0105　鎌ヶ谷市鎌ヶ谷7-6-59

[山梨県]

山　梨　(055)226-2561　〒400-0035　甲府市飯田4-8-23

中　部　地　区

[愛知県]

名古屋　(052)979-3455　〒461-0011　名古屋市東区白壁5-41
岡　崎　(0564)23-3418　〒444-0065　岡崎市柿田町1-2

[岐阜県]

岐　阜　(058)246-3417　〒501-6006　岐阜県羽島郡岐南町伏屋1-35

[静岡県]

静　岡　(054)261-4151　〒420-0813　静岡市長沼885
沼　津　(055)963-1000　〒410-0861　沼津市真砂町3-1
浜　松　(053)461-8685　〒435-0016　浜松市和田町795-2

中　部　地　区（つづき）

[長野県]

松　本 (0263)26-1107 〒390-0835 松本市高宮東1-35
長　野 (026)299-9501 〒388-8006 長野市篠ノ井御幣川字東松島1000-2

[石川県]

金　沢 (076)237-7811 〒920-0062 金沢市割出町627

[富山県]

富　山 (076)422-7020 〒939-8211 富山市二口町1-13-8

[福井県]

福　井 (0776)22-6082 〒918-8231 福井市問屋町1-17

[三重県]

三　重 (059)228-8126 〒514-0838 津市岩田町10-3

近　畿　地　区

[大阪府]

大　阪 (06)6992-6235 〒570-0086 守口市竹町4-13
大阪南 (06)6761-4600 〒543-0001 大阪市天王寺区上本町5-1-14 三洋ビル2F
大阪東 (0729)65-1811 〒578-0903 東大阪市今米2-3-29
阪　和 (072)221-8571 〒590-0959 堺市大町西3-1-16

[京都府]

京　都 (075)672-0877 〒601-8102 京都市南区上鳥羽菅田町41
三　丹 (0773)27-3458 〒620-0856 福知山市土師宮町1-66

[奈良県]

奈　良 (0744)22-7888 〒634-0837 橿原市曲川町7-1-31

[滋賀県]

滋　賀 (077)545-4221 〒520-2134 大津市瀬田1-1-5

[和歌山県]

和歌山 (073)436-3110 〒641-0006 和歌山市中島369
田　辺 (0739)22-7520 〒646-0051 田辺市稲成町南江原318

[兵庫県]

神　戸 (078)651-3951 〒652-0897 神戸市兵庫区駅南通2-1-11
阪　神 (06)6432-3401 〒661-0026 尼崎市水堂町4-17-6
姫　路 (0792)96-2141 〒670-0981 姫路市西庄字八町108
淡　路 (0799)22-2702 〒656-0101 洲本市納字横竹308-1

中　国　地　区

[広島県]
広　島　(082)293-6511　〒733-0012　広島市西区中広町3-17-5
福　山　(084)925-3455　〒720-0077　福山市南本庄3-1-48
[岡山県]
岡　山　(086)245-1634　〒700-0973　岡山市下中野703-101
津　山　(0868)22-6133　〒708-0002　津山市上河原239-10
[鳥取県]
鳥　取　(0857)24-2930　〒680-0843　鳥取市南吉方3-107
[島根県]
浜　田　(0855)22-7883　〒697-0023　浜田市長沢町3049
松　江　(0852)23-1183　〒690-0017　松江市西津田4-1-14
[山口県]
山　口　(083)973-3391　〒754-0024　山口県吉敷郡小郡町若草町2-6

四　国　地　区

[愛媛県]
愛　媛　(089)971-3342　〒791-8036　松山市高岡町148-1
宇和島　(0895)27-1818　〒798-0077　宇和島市保田甲934-3
[香川県]
香　川　(087)843-1840　〒761-0104　高松市高松町2175-10
[高知県]
高　知　(088)860-0229　〒781-5106　高知市介良乙1044
[徳島県]
徳　島　(088)699-4131　〒771-0219　徳島県板野郡松茂町笹木野字八北開拓150-2

九　州　地　区

[福岡県]
福　岡　(092)928-3414　〒818-8534　筑紫野市紫6-1-1
北九州　(093)521-5286　〒802-0023　北九州市小倉北区下富野2-10-28
中九州　(0942)21-3534　〒830-0052　久留米市上津町字赤坂1890-2
[長崎県]
長　崎　(095)824-5628　〒850-0012　長崎市本河内3-21-43
佐世保　(0956)31-7635　〒857-1162　佐世保市卸本町17-1

九　州　地　区（つづき）

[熊本県]

熊　本	(096)357-1122	〒861-4106	熊本市南高江町3-2-88
八　代	(0965)35-3483	〒866-0871	八代市田中東町12-7

[大分県]

大　分	(097)543-3454	〒870-0822	大分市大道町3-4-32

[宮崎県]

宮　崎	(0985)29-3441	〒880-0036	宮崎市花ケ島町観音免883

[鹿児島県]

鹿児島	(099)251-4615	〒890-0068	鹿児島市東郡元町11-10

沖　縄　地　区

[沖縄県]

沖　縄	(098)944-5018	〒903-0103	沖縄県中頭郡西原町小那覇1303 沖縄三洋販売(株)サービス部

(300704D)

住所、電話番号は、ご通知なしに変更することがありますので、ご了承ください。

無料修理規定

お買い上げの日から保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルその他の注意書きに従った使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき、お買い上げの販売店が無料修理いたしますので、商品と本書をご持参ご提示ください。

1. 保証期間でも次のような場合には有料修理となります。
   イ. 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
   ロ. お買い上げ後の取り付け場所の移動、落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
   ハ. 火災・地震・水害・落雷・その他の天変地異ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
   ニ. 取扱説明書に記載されている使用条件以外で使用した場合の故障または損傷。
   ホ. 本書の提示がない場合。
   ヘ. 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
   ト. 消耗品の交換・仕様変更など。
2. 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料や出張修理をおこなった場合の出張料はお客さまの負担となります。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品等で本書に記入の販売店に修理をご依頼になれない場合には、「お客様ご相談窓口」をご覧のうえ、もよりの窓口にお問い合わせください。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   Effective only in Japan.
6. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明な場合は、お買い上げの販売店または「お客さまご相談窓口」にお問い合わせください。

● 保証期間が経過した後の修理についての詳細は「保証書とアフターサービス」の項をご覧ください。